

清水東高等学校

同窓会々報

平成元年 3月10日
第 2号
清水東高等学校同窓会
0543-65-7030

久々に総会開催決定

去る十一月二十六日に母校会議室で行なわれた、幹事会において、会員全員一同に呼びかけ、真の総会を開く事を決定した。二月十九日に東京で開かれた、関東地区の同窓会総会が三百余名を集める盛会であったのに刺激された事もあるが、稲名会長の宿願でもあった。

十一月二十六日二時より開かれた総会(幹事会)において、決算報告、予算審

議のあと、会員全員に呼びかける真の総会を開く事を決定した。母校講堂で、かつて二、三回開いた事があるとか。しかし、この二十年以上行っていない。二年ほど前から話が出ていたのが、具体化した。直接幹事には、高八回の鈴木康之氏代表になった。場所はマリンビル、日は五月二十七日十八時。申込みは四月二十

日迄に。郵便振替 名古屋2198804 清水東高同窓会宛振こみ。

関東地区の第二回総会にあたり、皆様の母校愛に敬意を表します。本部も八期の皆様の努力で、マリンビルで総会が決定いたしました。五年後創立七十周年の記念事業を迎えますが、皆様の御協力をお願いいたします。御活躍をお祈りいたします。

(会長 稲名嘉男)

関東地区同窓会

第一回総会開かる

二月十九日 都ホテルで左記の要領で関東地区同窓会総会が開かれた。

清水東高関東地区同窓会	
式次第 第一回総会	
一、開会の辞	西ヶ谷 志雄氏
二、来賓挨拶	稲名 嘉男氏
三、清水東高校長 西ヶ谷 志雄氏	清水東高同窓会会長
四、清水東高同窓会代表 塚本 博氏	清水東高関東支部幹人代表
五、会則(案)の朗読及び議決	
六、鏡開き式	
七、乾杯	
八、祝辞	日本長期信用銀行 竹内 安氏
九、日本長期信用銀行 常務取締役 文 筆 家 江國 滋氏	東京大学教授 和田 春樹氏
十、恩師(清水東高O.U.) 有原 耕氏	
十一、校歌斉唱	
十二、閉会の辞	
以上	

左記の式次第の他に、シャンソン歌手田中率氏(高三回)の校歌演奏、旧制一回のグループ(代表・立花薫氏)による謝辞(これは飛び入り)。音楽部出身の鈴木実氏(高八回)の指揮で、校歌斉唱等、感動的な場面が多くあった。集まった同窓生は三百余名、上は旧姓一回の卒業生から、下は大学生まで、六

清水東高関東地区同窓会第1回総会



十年以上の年代の差を越えて「世界の四方に歌わる」と声を張りあげたのであった。

なお、第二回総会は四月二十一日(金)都ホテルで行なうことに決定。昨年以上の参加数をと準備を行なっている。高校八回生を中心に、関東一円に呼びかけを行ない、関東地区の恩師(第一回では、清水からかけた先生方もおられた)の先生方もたくさん集めたいとはり切っている。関東地区以外で参加希望の方は、母校事務局へ問い合わせ願いたい。

定時制のみなさんへ

五十周年記念碑建立について

昨年の十月、学校当局から本校の定時制課程が昭和二十三年十月に創立されてから四十周年を迎えた事をお聞きし、同窓会定時制支部として何らかの記念行事をと考え、役員の方と協議いたしました。

その結果十年後に迎える五十周年の記念事業として定時制の卒業生の手で校内に「記念碑」を建立しようということになり、昨年より定時制の卒業生の皆さんに募金の協力を呼びかけてまいりました。

戦後、教育の機会均等の一翼をなっ
て発足した定時制教育も、四十年余の歳
月の中で大きく変化し、一時は県下六十
余校の定時制課程も、現在では二十四校
になりました。清水市内でも、清商の定
時制が本校に、昭和五十一年統合。これ
から先も、中学校卒業者の急減期を迎え、
近年中に静岡市内に単位制高校の設立が
予定されています。これらのことが今後
の定時制に大きな影響を与えることは明
らかで、いくつかの定時制課程が廃校に
追いやられることも考えられます。母校

清水東高校の定時制課程も無事に五十周
年を迎えることが出来ると明言できない
状況だと思えます。こうした状況を考慮
すれば「記念碑」の建立の意義は大きい
と思えます。

定時制卒業生の皆さん、こうした「記
念碑」建立の意義を御理解いただいで、
まだ基金を寄せられてない方は、ご支援
ご協力をお願いします。

送金方法は郵便振替「名古屋三二五四
八六四 清水東校(定) 卒業生連絡会」
宛、募金は一口千円ですが、ぜひ二千元
以上お願いします。なお、問い合わせは
千葉力 自宅 〇五四三(66)二三二五
勤務先 〇五四三(66)四二五



新校長紹介



昨年三月西ヶ谷
校長勇退に伴い、
庄田校長着任。

西ヶ谷先生のあとを受けて六十二年四
月赴任いたしました。

文武両道を校是として、学習にスポー
ツに見事な実績を誇る本校の伝統を受け
つぎ、さらに発展させるべく全力を尽く
します。幸い、常識と熱意に溢れた精鋭
の教職員と、能力、学習意欲に恵まれた
生徒諸君の意気が、しっかりとかみ合っ
ております。同窓会の皆様方のいっそう
の御支援をお願い申し上げます。

庄田武先生は、昭和七年生、名古屋
大学卒。浜北西高校長・県教委高校教
育課課長・総務課課長を経て、本校校
長に着任。専門は社会科。

同窓会会計報告について

次頁の上に、六二年度決算、六三年度
予算を挙げた。関東地区同窓会発足と機
関紙印刷送付は、終身会費値上げで何と
か赤字にすることなしに終った。今年度
は総会等で、出費が予想されている。

募金総額三百三十万余になる



昨年、この会報で資金不足を訴えたと
ころ、八百一十三名から払込があり、総
計三三六万二千円余になった。それに七
月発行の名簿の広告代金のもどりを入れ
ると、四四六万二七八四円(十一月二九
日現在)になった。次頁の予算・決算の
方はすべて生徒の入会金、終身会費での
み運営されており、真の基金にはなり得
ない。よって、この募金を基金に、同窓
会館建設への足がかりとして行きたい。
まだまだ微々たる一歩であるが、事ある
毎に呼びかけ、増やして行きたい。
まずは御協力有難うございました。

昭和62年度 清水東高等学校同窓会決算書

取 入 4,226,079円
 支 出 2,112,419円
 残 高 2,113,660円……翌年度へ繰越

収入の部

科目	予算額	決算額	増 減	備 考
繰越金	2,216,600 ^前	2,216,600 ^前	0 ^円	
入会金	198,000	399,000	201,000	1,000円×375人(全)
終身会費	990,000	1,548,000	558,000	1,000円×24人(定)
				4,000円×375人(全)
				2,000円×24人(定)
雑収入	45,400	62,479	17,079	
計	3,450,000	4,226,079	776,079	

支出の部

科目	予算額	決算額	増 減	備 考
会議費	300,000 ^前	269,400 ^前	30,600 ^前	総会、役員会
旅費	300,000	267,040	32,960	役員等旅費
慶弔費	500,000	485,790	314,210	祝儀、香料、転退職者 降別
需要費	300,000	174,862	125,138	追録印刷、消耗品
通信費	750,000	697,630	52,370	会報送料金、関東支 部連絡等
管理費	340,000	177,577	162,423	中庭管理
卒業記念費	360,000	336,320	23,680	記念品代
学校助成費	300,000	3,800	296,200	学校行事等補助
雑費	200,000	0	200,000	
子備費	100,000	0	100,000	
計	3,450,000	2,112,419	1,337,581	

会計監査の結果適正妥当なものと認めます。

昭和63年9月20日

監事 川島 友好 印
 松永 政三 印

昭和63年度 清水東高等学校同窓会予算書

取 入 4,100,000円
 支 出 4,100,000円
 残 高 0円

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰越金	2,113,660 ^前	2,216,600 ^前	△102,940 ^前	
入会金	396,000	198,000	198,000	1,000円×378人(全)
終身会費	1,548,000	990,000	558,000	1,000円×18人(定)
				4,000円×378人(全)
				2,000円×18人(定)
雑収入	42,340	45,400	△3,060	預金利息
計	4,100,000	3,450,000	650,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会議費	300,000 ^前	300,000 ^前	0 ^前	総会、役員会
旅費	300,000	300,000	0	役員等旅費
慶弔費	500,000	500,000	0	祝儀、香料、転退職者 降別
需要費	300,000	300,000	0	追録印刷、消耗品
通信費	800,000	750,000	50,000	委員会通知、会報送料 料金等
管理費	340,000	340,000	0	中庭管理
卒業記念費	360,000	360,000	0	記念品代
学校助成費	300,000	300,000	0	学校行事等補助
雑費	200,000	200,000	0	同窓会名簿メンテナンス
子備費	700,000	100,000	600,000	
計	4,100,000	3,450,000	650,000	

注：科目間の流用を認める。



静岡県立清水東高等学校文芸部

文芸部誌「清流」
 文部大臣奨励賞を受く

「清流」四十号が、全国文芸作品コンクール・文芸誌の部で、最高の文部大臣奨励賞を受けた。昨年十二月二十日に、東京青山会館で表彰式が行なわれ、三年の部長小沢広起君が、代表で出席した。下段の写真はその時のものである。

全国四十九誌の応募があり、感性、内容の点で特に秀れているとの評を受けた。なおこれは高文連（高校文化連盟）の文芸の部として三回目であり、部誌のコシクルとしては第一回目である。

文芸部は、現在部員十三名、顧問久恒先生の許、月刊誌「ひこうきぐも」も発行、活発に活動している。

―事務局よりお願い―

今年五月の総会に関して、事務局からお願いをします。

まず、各回期の幹事をはっきりきめて頂きたい。幹事の決っている回期でも、連絡もとれず、通知を出しても返事のない回期もある。又昭和四十九年卒以下の回期は代表幹事がきまっています。出来るだけ早くきめて事務局へおしらせ願います。

なお、総会への出席は参加料の振込みで申込みにかえることにします。よろしく願います。





学校現況

現二年生から、理数科を含め学年十クラスになった。この四月から全校千二百名の大世帯をかかえる。

昨年度全国大会クラスへの運動部出場がなかった。その割には、進学の成績がよかった（東大現役合格者十名）。文武の、文がいささか、気を吐いたといった感じの年であった。

今年度は全国優勝といってもいい賞を文芸部が受けた。特筆すべき事である。

一方運動各部は低迷から脱却しつつある。来年度を期待したい。

運動部昭和六十三年成績

◇サッカー

インハイ 準々 対清商三一三
PK二一二で惜敗

国体に竹沢（三年）相馬（二年）高橋（二年）出場 優勝

選手権 決勝 対清商一―二
延長の末惜敗

◇野球

秋季大会 県ベスト8進出
久々に甲子園が見えた

◇ハンドボール

インハイ 県三位 対清商に惜敗
新人戦 県三位
もう一步である。

◇陸上

インハイ 湯川豊子、百ハードル東海
総体出場 全国大会出場はならず
新人戦は、二年田代が百ハードルで活躍。駅伝にもぎりぎりの人数ながら出場、15位と初出場としては出色の出来であった。

◇バスケット

女子が新人戦で大活躍、中部二位となり、県も準々まで進む。

◇硬式庭球

新人戦・団体で県ベスト8、シングル海野（二年）は中部二位、ダブル優勝

◇軟式庭球

男子は、新人戦団体・中部優勝、県ベスト6。個人も多田・蛭谷（二年）が県ベスト16に入る。女子は団体でインハイ新人と県大会に出場する。

なお、この他に二年の杉田正芳が、ボ―リングで秋の国体に出場、全国五位に入賞、話題となった。

文化部

前述の文芸部に見られる如く、他の文化部も一時期の低迷から抜け出し、動き始めている。

囲碁部が、中部で上位入賞。県でもなかなかの所をねらい出している。プラバンは定演をめざし、音楽は、久々に聴かせている。美術はコンクール入賞者を出す。演劇は部員数十何名になり張りきり、書道も部員がふえた。生物もコンクール参加をめざし、化学・物理も、それなり経活動を行なっている。新聞も時折り発行されている。見通しは明るくなった。



旧21回高1回母校訪問する

昨年十月廿九日、何十年ぶりかで母校を訪れた面々。前列に、亀山、久保田、大田等なつかしい先生方もおられる。

編集を終えて

どうやら、二号を発行できます。金銭的な面はとりあえず解決しました。後は、人手の問題です。できれば、専従で、編集をやって下さる方がおられれば、まことに有難いのですが。事務局（清水東高）まで御一報下さい。